

カーフリーデーの様子

横浜では



- 2004年、初めて日本でカーフリーデーが実施された第1回目から参加しています。
- 第1回目は約60団体が参加、年々参加団体は増えています。
- 公共交通としてミナト・横浜の地域特性をいかした海上交通を視野に入れた活動を行っています。
- 2012年にNPO法人横浜カーフリーデー実行委員会になりました。

横浜カーフリーデー ＆モビリティウィーク に参加しませんか？

NPO 法人横浜カーフリーデー実行委員会・協賛募集

- 入会金：なし
- 年会費：正会員 (個人) 5,000円
(団体) 10,000円
- 賛助会員 (個人) 102,000円(10口以上)
(団体) 105,000円(10口以上)
- 振込口座：横浜銀行 反町支店 普通 6012750
- 口座名：横浜カーフリーデー実行委員会

イベント参加へのお願い

- 協賛・後援：運営の資金援助を行う
- イベントに出店・出展する：参加費必要
- ボランティア参加(イベントのお手伝い)
- 横浜カーフリーデー9月22日(23日)に来場
- 9月22日にマイカーを使わない宣言に参加

- 協賛・後援・出展(出店)団体の広報活動
- カーフリーデー＆モビリティウィークの情報を送ります
- さらに詳しい情報はこちらから
- NPO法人横浜カーフリーデー実行委員会
<http://www.ycfd.jp/>
- 一般社団法人カーフリーデージャパン
<http://www.cfdjapan.org/>

お問合せ

〒221-0843 横浜市神奈川区松ヶ丘42-1
☎ 090-3572-0807(事務局)

協賛：山陽印刷株式会社

Yokohama Car Free Day & Mobility Week
抜けは街が見えてくる。クルマを置いて街に出よう。

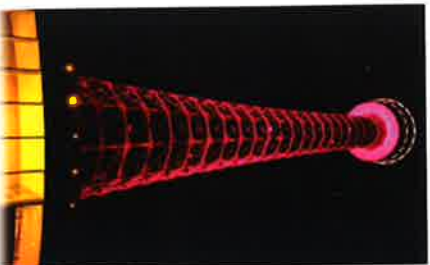


横浜カーフリーデー ＆モビリティウィーク



In Town Without My Car
EUROPEAN
MOBILITY WEEK
& CarFreeDay

特定非営利活動法人 横浜カーフリーデー実行委員会



カーフリーデーとは?

毎年9月22日(※)に世界同時に行われます。地球環境問題、都市交通問題等の改善のためマイカーを使わない日を設け、公共交通機関・徒歩・自転車などを利用して、都市環境の変化を体験することによって、経済や文化活動にどのような影響があるか「持続可能な都市交通とは何か」を一緒に考える社会的なイベントです。

※日本は9月23日の祝日にあることがある

カーフリーデーの目的

1. 大気汚染の問題を認識する

クルマ社会は、気候変動や健康を害する汚染物質の排出源であり、個人所有のクルマ利用を少しでも減少させる。

2. 人や自転車の空間を優先する

限られた都市空間を人と自転車優先にする視点から都市交通を考え直す。

3. 公共交通の推進・強化

都市部の環境汚染やエネルギー問題、交通渋滞などの問題から、公共交通を強化する。

4. 地域の資産を再認識する

クルマを利用しては見落としてしまいが、徒歩や自転車を利用することにより、見えてくる街の再発見をする機会とする。

ラ・ロツンエルから始まった



ラ・ロツンエルは、フランスで第1号の歩行者専用ゾーンを設けた環境に関する先駆都市です。電気自動車も普及にも取り組んでいます。

この都市で、1997年に開催されたのが、「車のない日」という社会実験でした。

カーフリーデーはその後フランス環境省のプロジェクトとなり、2000年からはヨーロッパ委員会のプロジェクトとなりました。

「街では車を使わない」という考え方は、世界の共通した認識なのかもしれません。



EU欧州委員会が支援するプロジェクト

ヨーロッパを中心に毎年2000都市以上が実施
アジアへの展開

2002年台北が実施、交通政策展開のスタートポイントと認識

2007年ソウル市が実施、鐘路でバスを除く車両の通行禁止(4~18時)バスが無料になった

2012年ベトナム(ホイアン市)が参加



カーフリーデーの様子 ...日本では

2004年、横浜市・松本市・名古屋市の3都市の参加で始まりました。2012年に仙台・さいたま・横浜・逗子・松本・福井・富山・大阪・高松・那覇の10都市になりました。年々参加都市が増えています。

